

国土強靱化

防災・安全交付金で「メンテナンス元年」に

今月は太田明宏国土交通大臣の『国土強靱化』についての考えが日経コンストラクション（2.25号）に掲載されていたので、その要点をお伝えします。

1、従来の公共事業との大きな違いは？

防災・減災・老朽化対策など国土のメンテナンスを中心とした「命を守る公共事業」である点



2、防災・安全交付金は従来の自主戦略交付金とどう違うのか？

防災・減災、老朽化対策に使い、個別の使い道は全て地方に任せる。中身は全部自治体が決めてよい。

3、12年度の補正予算に対して「バラマキではないか」という意見があるがそれについての回答は？

従来は景気対策のように言われ、予算規模が問題視されてきたが、今回は必要なものを積み上げた形であり、公共事業を何のために予算化するのかということについての思想と哲学が、初めて盛り込まれた。

4、国土のグランドデザインについての考えは？

将来の人口構成の配置をどう捉えどのような戦略を立てていくか。また、ロシアや朝鮮半島、中国に近い日本海側の位置づけを再考し、防災面での代替性、多重性を考えて、もう一度グランドデザインについて議論する時期に来ていると思う。

最後に、「建設業や公共事業はこれまで悪玉論にさらされてきました。公共事業、地域防災の担い手として、地域の建設業者を中心とした方々に、日本のために安定して仕事をやり続けていただくためには、予算が急に増えたり減ったりしてはならない。・・・地域を担う建設業に若い人も入ってきて技術や技能も身に付けられる。こうしたことに注意深く配慮しながらやっていかなくてはならないと思っています。」と結んでいらっしゃいます。

「国土強靱化」とは一言でいうと「生活に近いインフラ整備」（命を守る公共工事）ということでした。ここ数年は変な人が国土交通大臣になっていたのも、やっとふさわしい方が就任されたと思います。また、太田さんは国土強靱化の提唱者で内閣官房参与の藤井聡京都大学大学院教授の大先輩であり土木の専門家だったのです。今後のご活躍に期待します。

太田 明宏（おおた あきひろ）

1945年生まれ。68年に京都大学工学部土木工学科卒業、71年に京都大学大学院工学研究科を終了し公明党機関紙局入社。93年衆議院初当選。2006年公明党代表に就任。2012年12月に6期目の当選を果たし同月より国土交通大臣就任



会計検査こぼれ話

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂8版より「会計検査 Q&A」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏は 昭和19年生まれ。
元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

今月の質問 : 受検側が了解しないと問題にしない？

質問

会計検査院が検査報告に掲記する問題は、相手方の了解を得られた事柄に限られ、相手方が同意しない事柄は検査報告には掲記されないということを知りましたが、本当か？



回答

それは正しくありません。会計検査院は、検査の結果、不適切ではないかと思われる会計経理については、責任者に対して書面をもって質問します。この質問は、検査の結果に基づいて、事実認識の確認、疑問点の解明などのために行うもので、不適切と思われる会計経理の概要、検査過程での所見とその理由、疑問点などを記述します。そして、これに対する検査対象機関の見解を文書で求めて事態を究明しています。

この書面による質問・回答のやり取りは、会計検査院の判断の公正を期するうえでも重要な意義を持っており、質問に対する回答書は、検査対象機関の見解を示す重要な証拠資料として、事態の判断に欠かせないという位置づけをしています。

検査報告は、検査報告委員会の審議を経て作成されますが、各局に設けられた「局検査報告委員会」で可決された案件が、事務総長官房に設けられた「検査報告調整委員会」に送付され、さらに事務総長審議を経て検査官会議に諮られ、そこで可決となってはじめて検査報告となります。

委員会での審議は、多種多様な事案について多角的に行われますが、「3読会制」「覆審制度」などという独特の方法を採用して、慎重に審議を重ね、公正・妥当な結論に到達するようにしています。

こうした審議の過程で、上記の回答書の内容が重視されるのは事実です。

しかし、委員会での審議は、①事実関係の解明、②制度の仕組みや法令の適用関係の分析、③過去の経緯と客観情勢の変化との関係、④問題の所在や解決策の検討など、多角的に行われるもので、回答書の内容だけで判断するということはありません。したがって、会計検査院の指摘に対して検査対象機関が同意せず、回答書で反論している問題についても検査報告に掲記することはあります。

レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◆◆◆ かんたん側溝 落ち蓋タイプ ◆◆◆◆

こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです♪

今月は、大好評中の「かんたん側溝 落ち蓋タイプ」のご紹介です。

1月号でも少し取り上げましたが、リニューアル後 順調に実績を伸ばし、ご紹介が追いつかないほどたくさんの現場へ納入しています。

独自の蓋版ズレ止め機能やJIS側溝にはないアート模様など、他にはない特長に驚かれる現場も多数です。ぜひ、採用をご検討ください♪

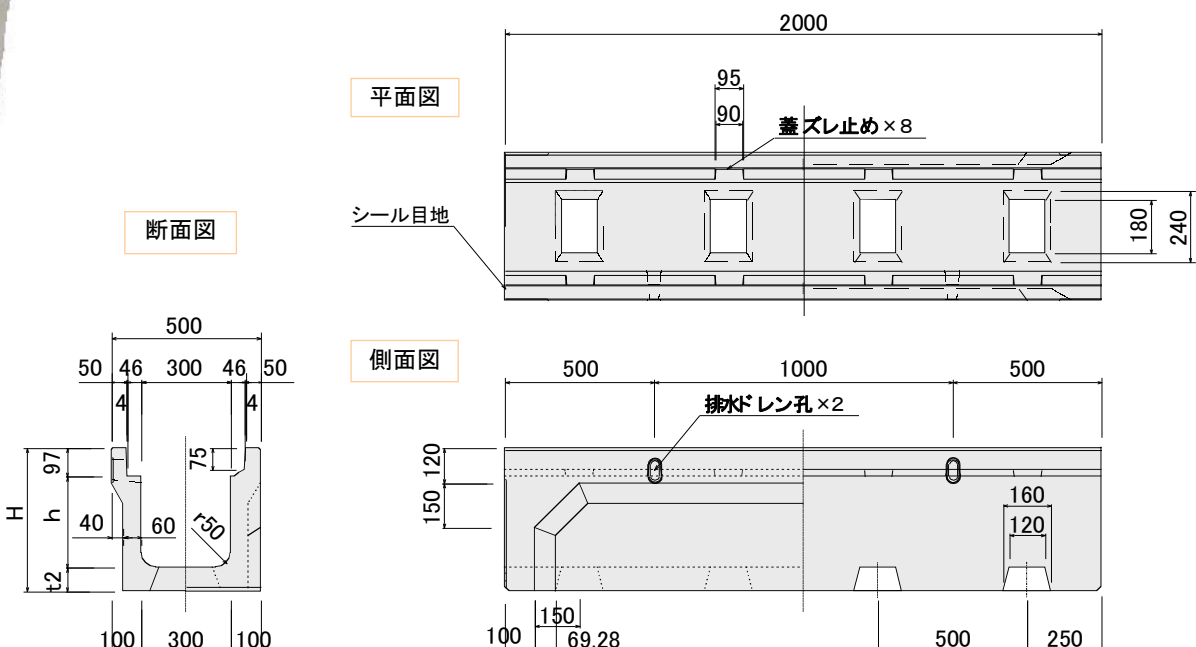
ポイント
アート模様と連続スリットで抜群の集排水性！



特長

- 蓋版はズレ止め機能が付いているので、磨耗・角欠けを防止します。
- 蓋版上部はアート模様（小水路）により、すべり止め・排水機能を備えています。
- 蓋版中央部に連続スリット（面排水）を設け、集水性・排水性を高めました。
- 蓋版は高齢者・身障者・視覚障害者などに配慮したユニバーサルデザインです。（バリアフリー）
- 自動車の走行による振動・騒音がありません。（無騒音タイプ）
- 側面が等厚にもなり、従来のU型側溝のような張り出しがないため転圧が容易に出来ます。
- T-25 荷重に対応しています。
- 底版コンクリートを調整することで、道路勾配に関係なく、水路勾配が自由に付けられます。
- 底版調整コンクリートの施工が簡単です。（調整コンクリート厚は t = 50mm 以上を基準とします。）
- 水路勾配を付ける必要がない場合、底版開口のないタイプを利用できます。
- 製品同士の接続部は連結金具の有無が選べます。
- 側壁に排水ドレン孔を有効配置し、排水性舗装用側溝としても最適です。

製品図 本体

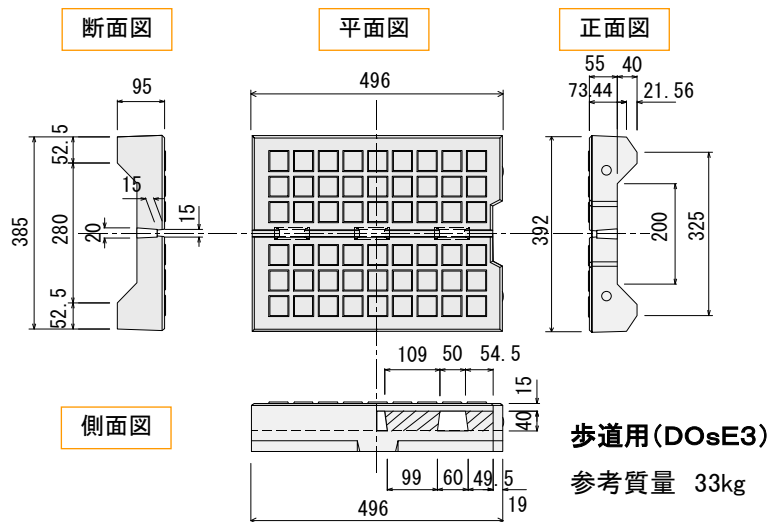
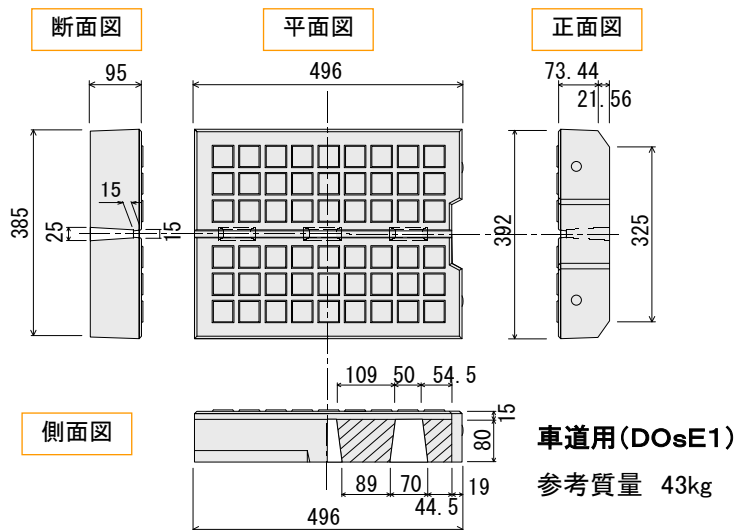


ポイント
見た目も施工もスッキリ
多機能な側溝です！

両通行 形態	呼び名	規格寸法(mm)			参考質量 (kg)
	W×h	H	h	t2	
DNV1 車道縦断用	300×300	485	308	80	418
	400	585	408	80	477
	500	685	508	80	536

両通行 形態	呼び名	規格寸法(mm)			参考質量 (kg)
	W×h	H	h	t2	
DNV2 車道横断用	300×300	505	308	100	453
	400	605	408	100	512
	500	705	508	100	571

製品図 蓋



横断用



施工写真



道路改修工事に使用
されました。
施工時の製品反転作
業も不要ですし、施工
もかなりスムーズに
行われたようです。
インポートコンクリ
ートも打ちやすい側
溝です。



◆製品に関するお問い合わせ☆資料請求は
直通電話: **0858-73-0500**
までお気軽にどうぞ!
FAX : **0858-73-0535**
E-mail : info@kooge.jp



幅員の狭い道路ですが、落ち蓋にすることで幅員を有
効に活用できます。
積雪の多い地域なので、蓋版のアート模様で滑り止め
の効果も期待できそうです。

◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

梅が咲き始め鳥取にも春が来ました。前年とうって変わり、今年は記録的な「少雪」でした。あと20日で新年度になり、皆さんの職場にも新入社員の方が入ってくることと思います。当社も久しぶりに4名入ってきますが、いっしょに働けることが今から大変楽しみです。



(山根)

<URL> <http://www.kooge.jp/>

<e-mail> info@kooge.jp